

第一回 船場まつり (9月14日～21日) 開催イベント

帰宅困難者@せんば を考え展か

～ 地震で船場に泊まることがいつかあるなら、それが心安まる一夜であるために ～

展示期間: 9月18日(金)～21日(月・祝) 10時～18時

会場: せんばセンタービル5号館 2階 234室

大阪の経済の中心であり交通の要衝である船場は、上町活断層地震などの大きな災害が起きた場合には、中央区で24万人以上の帰宅困難者が発生が予測され、また重要な帰宅ルートとなる御堂筋・中央大通りの結節点として、多くの帰宅困難者が終結することも想定されます。反面、船場の豊富な人材と物資は、大災害の被害を広げない、減災の拠点ともなり得ます。

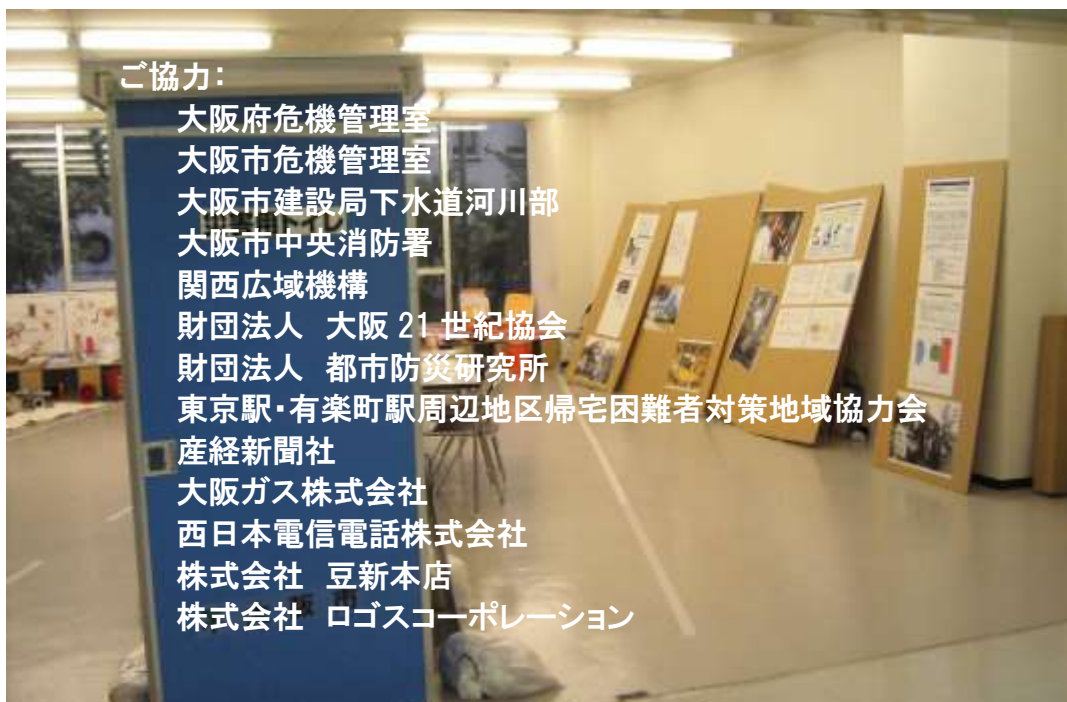
8月12日に静岡県おこった震災では、東海大地震を想定した訓練や対策が浸透していたため、被害や混乱が少なかったと報道されています。

大阪では、帰宅困難者問題への取り組みは、まだ緒に就いたばかりです。

今般、帰宅困難者となる可能性のある船場勤務の人々も集まる「せんばまつり」(9月14日～21日)に最初の機会を得て、帰宅困難者となる場合への自分自身の備え、帰宅困難者への地区での備え、心の問題への対処などについて、考えることを船場から広げていきたいと存じます。

今回は、帰宅困難者が船場に泊まらないといけない事態を想定して、船場に豊富な布を使って、救護の助け合いや、マンホールトイレにラッピングを施し、船場らしく明るくクリエイティブな一時生活環境づくりを試行しますので、ご参加ください。

企画・実施: 船場げんきの会 有志



展示内容 (ご提供元)

■展示(パネルと実物)

帰宅困難者問題と船場(主催者)

大阪市の震災想定、震度分布・液状化予測(大阪市危機管理室)

帰宅支援マップ(大阪府危機管理室)

災害時伝言ダイヤル「171」・ブロードバンド伝言板「Web171」(西日本電信電話株式会社)

災害時帰宅支援ステーション(関西広域機構)

阪神・淡路大震災報道写真、静岡地震報道記事(産経新聞大阪本社)

東京駅・有楽町駅周辺地区の帰宅困難者対策の取組み

(東京駅・有楽町駅周辺地区帰宅困難者対策地域協力会、財団法人 都市防災研究所)

NEXT21から上町台地に減災の風を運ぶ、『上町コロコロ新聞・減災特集』の発行(大阪ガス)

マンホールトイレ[実物4機展示](大阪市建設局下水道河川部)

災害時の防災道具、防災グッズ(大阪市中心消防署)

せんば元気マメ(株式会社 豆新本店)

帰宅困難者ツール(株式会社 ログスコーポレーション)

■シミュレーション

大阪市帰宅困難者発生シミュレーション・ゲーム(財団法人 都市防災研究所)

■日替わりワークショップ

災害時の応急救護練習(大阪市中心消防署)

マンホールトイレ覆屋のラッピング、ペイント(主催者グループ)

■アイデア募集

こんな帰宅困難者対策をしてほしい、こんな帰宅困難者グッズがあったら